



## 【本号のトピックス】

### 敬老の日の高齢者健康相談／支部活動たより

## 「敬老の日の高齢者健康相談」に参加して

越野 寿

北海道医療大学歯学部口腔機能修復再建学系  
咬合再建補綴学分野

皆様ご存じの通り、3月11日に発生した東日本大震災によって、太平洋沿岸の東北地方を中心に、甚大な被害がもたらされました。歯科医療に関わる諸団体が、厚生労働省や日本歯科医師会、日本歯科医学会の呼びかけに応じて、身元確認や歯科医療救護活動を実施し、本学会もこれらの活動を支援し、多くの会員がこれらの活動に積極的に参加してきました。これらの活動は、発災後、完全に崩壊した歯科医療体制を補完する役割と、物流の崩壊による口腔衛生資材不足を補うこと、身元不明者をご家族の元にお返しする等の役割を担っておりましたが、被災後おおむね3カ月の時点で、その役割を終えました。

しかしながら、被災地におきましては、未だ日常からほど遠い、仮設住宅での生活を強いられております。この状況を受けて、日本老年医学会

主催、日本老年精神医学会、日本老年歯科医学会が共催で、平成23年9月19日の敬老の日に「敬老の日の高齢者健康相談」を実施することになりました。日本老年歯科医学会として、認定医にボランティア参加を募ったところ多くの応募をいただき、吉田光由(広島市総合リハビリテーションセンター)、菅 武雄(鶴見大学歯学部高齢者歯科学講座)、阪口英夫(大生病院歯科口腔外科)、石川茂樹(医療法人芽依美会石川歯科医院)、渡邊 裕(東京歯科大学市川総合病院歯科・口腔外科)に私を加えた6名の認定医・指導医が被災地支援に派遣されましたので、その概要をご報告いたします。

まず、今回の活動に参加した老年病専門医、日本老年精神医学会専門医、日本老年歯科医学会認定医あわせて30名が、活動日前日である18日



復興はまだまだ



道路に船



受付風景

に岩手県一関市に集合し、全体ミーティングを行い、それぞれの役割分担と活動内容、連携についての調整と確認を行いました。

翌日、一関市のホテルからレンタカーに分乗し、活動地域である宮城県気仙沼市に移動しました。気仙沼市は、街並みの大半が津波によって流失した都市であり、町の中心部から内陸にある高台を中心に仮設住宅が数百戸単位で点在している状況でした。我々が担当したのは、五右衛門ヶ原運動場仮設住宅集会所(菅)、面瀬中学校住宅集会所(石川)、気仙沼市保健福祉センター(阪口)、小泉中学校校庭仮設住宅集会所(吉田)、大島開発総合センター(渡邊)、気仙沼公園住宅集会所(越野)の6カ所であり、6名の歯科医師がそれぞれ一カ所の集会所を担当しました。なお、現地では、東北大学歯学部から活動支援者が派遣され、我々の活動をサポートしてくださいました。

基本的には、「歯と口の健康相談」が活動内容であったため、歯や歯周組織に関する問題についての相談、義歯に関する相談が中心であり、治療の必要性や緊急性について説明し、必要があれば、診療可能な歯科医院を紹介しました。なお、宮城県歯科医師会のご厚意により、義歯洗浄剤や歯ブラシ等の衛生材料の配布も準備していきましたが、これらの需要は未だに高く、多めに準備していたつもりの材料はほとんど配布しました。これまでの歯科界挙げての支援の結果、口腔衛生に関する関心はある程度高くなっており、誤嚥性肺炎等への予防効果が期



Bチーム担当者

待できる状況にあると実感しました。

なお、今回の我々の活動中に、本会理事長の森戸光彦先生が個人的に気仙沼市を訪れ、激励して下さったことは、我々の士気をさらに高めるものでした。

発災後半年を経過した今日においても、未だ復旧・復興の道は見えず、瓦礫の整理がある程度進んだのかといった被災地の状況でしたが、被災者の力強い復旧・復興への強い意志はひしひしと感ぜられる状況であり、その中で、医科中心の活動に、歯科界の代表として日本老年歯科医学会が本活動に参画したことは素晴らしいことであり、その一員として有意義な活動ができたことは大変光栄なことと思うと共に、今回の活動が終わりではなく、継続的な支援の必要性を強く感ずる一日でもありました。

被災地の一日も早い復旧・復興を祈念すると共に、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。



## 支部活動たより

### 支部組織検討委員会

#### 誤嚥性肺炎防止のための機能的・ 器質的口腔ケアの展望

日時：平成23年10月22日(土) 16:00～19:00  
 場所：宮崎県歯科医師会館(4F ホール)  
 (〒880-0021 宮崎県宮崎市清水1丁目12番2号)  
 内容：「無歯顎義歯装着者の嚥下機能と義歯清掃の研究から」  
 長岡英一(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 口腔顎顔面補綴学分野)  
 「病院歯科の役割と取り組み」  
 新屋俊明(独立行政法人国立病院機構都城病院 歯科口腔外科)  
 主催：鹿児島大学歯学部同窓会宮崎県支部  
 後援：日本老年歯科医学会九州南ブロック

振込先：郵便振替 01600-1-12261 「口から食べたい」実行委員会 宛  
 申し込み締め切り：10月26日  
 定員：699名(申し込み順)いつも満員になりますので、お早めにお申し込みください。受付後、受講票を送付します。  
 問い合わせ先：089-984-0005(升田歯科)  
 主催：伊予歯科医師会・伊予医師会・松前町  
 後援：日本老年歯科医学会・愛媛県・愛媛県社会福祉協議会・松前町社会福祉協議会・愛媛県医師会愛媛県歯科医師会・愛媛県歯科衛生士会・愛媛県看護協会・愛媛県社会福祉士会・愛媛県介護福祉士会・愛媛県理学療法士会・愛媛県作業療法士会・愛媛県言語聴覚士会

### 第15回「口から食べたい」講演会

日時：平成23年11月6日(日)  
 9:30～16:00  
 会場：松前総合文化センター  
 (〒791-3192 愛媛県伊予郡松前町大字筒井633番地)  
 内容：「求めよ、さらば与えられん ～その思いに応えたい!」  
 山元加津子(石川県特別支援学校教諭 作家・エッセイスト)  
 「リハビリの祈りのことばは、いつもきくと脳に届きます」  
 紙屋克子(静岡県立大学大学院看護学研究科)  
 「再び笑顔でたべてほしいー意識障害患者の経口摂取への取り組みー」  
 申し込み：職種に関係なくどなたでも参加できます。  
 参加費 1,000円を下記口座にお振込みの上、振替領収書(または写し)を貼付したFAX申し込み専用紙(伊予歯科医師会ホームページ <http://www.iyodental.jp/> からダウンロード可)にて089-984-0195までFAXでお申し込み下さい。

### 長野口腔ケアフォーラム

日時：平成23年11月19日(土)  
 13:00～17:00  
 場所：松本歯科大学講堂  
 (〒399-0781 長野県塩尻市広丘郷原1780)  
 内容：1. 地域報告  
 清水美穂子(飯田市立病院 緩和ケア認定看護師)  
 宮下幸恵(信州大学附属病院 がん化学療法認定看護師)  
 2. 講演  
 「がん治療における口腔粘膜障害」  
 小泉知展(信州大学医学部附属病院 がん総合医療センター)  
 「口腔ケアの新しい可能性～口は災いの元～」  
 大西徹郎(池田市立池田病院 歯科口腔外科)  
 参加費：2,000円  
 共催：長野口腔ケア研究会 / 日本老年歯科医学会 中部北陸ブロック / ティーアンドケー(株)  
 後援：長野県看護協会、長野県歯科衛生士会

受付日

一般社団法人日本老年歯科医学会入会申込書

一般社団法人日本老年歯科医学会への入会をご希望の方は、下記に必要事項をご記入の上、FAX あるいは郵送にて、本会事務局までご送付下さい。なお、入会金および年会費(合計12,000円)は、銀行振込みあるいは現金書留のご都合の良い方法でご納入下さいますようお願いいたします。銀行振込みでご納入いただいた場合には振込依頼書等のコピーを【編集後記】の欄に貼付の上、ご送付下さい。

入会金：2,000円、正会員会費：10,000円(4月～3月) \*年度途中から入会されても入会金、正会員会費に変更はありません。  
\* 銀行振込先：三菱東京UFJ銀行 駒込支店 普通預金1296121 別口一般社団法人日本老年歯科医学会 代表理事 森戸光彦

<事務局> 〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9 (財)口腔保健協会内 FAX: 03-3947-8341

会員 No.				性別	1 男	2 女	生年月日(西暦)		年	月	日			
氏名	フリガナ						アルファベット(ローマ字・英語等の表記)							
	漢字	姓	名											
最終学歴		(学校名)		1	学部卒	卒業年(西暦)	年(卒・見込)							
勤務先	郵便番号	—		TEL			希望送付先	0	勤務先	1	自宅			
				FAX										
	住所													
	勤務先名称													
	※フリガナ													
	Eメール													
現住所	郵便番号	—		TEL			※Eメールのフリガナ例	ゼロ イ ヨ ナ ナ イ ル ホ						
				FAX			0 1 4 7 i l o							
	住所													
	ビル名気付等													
	※フリガナ													
	Eメール													
日本歯科医師会 会員区分	0	会員でない	職 種	0	歯科医師	4	保健師	勤務先	0	大学	1	病院	2	開業
	1	会員である		1	歯科衛生士	5	看護師		3	その他( )				
				2	歯科技工士	6	( )							
			3	医師										
※年度末にお申込の場合、ご希望のご入会年度にレ印を付けて下さい。								<input type="checkbox"/> 年度内入会希望 <input type="checkbox"/> 次年度入会希望						
※現在加入している他の学会名をご記入下さい。														

\*ご入会は学会HP(<http://www.gerodontology.jp/form/form>)でもお申込み頂けます。

編集後記

今号のレポートにありますように、本学会が日本老年医学会、日本老年精神医学会との協働で被災地において高齢者健康相談を実施し、彼の地に貢献することができましたこと、大変有り難く存じます。出向していただきました先生方にレポート寄稿も含めて厚くお礼を申し上げます。チーム医療、チーム介護、在宅医療が推進されるとき、歯科界は広い範囲の方々とのコミュニケーション能力が必要とされます。2015年には高齢化率は26.0%と予測されており、歯科臨床にとどまらず、社会福祉、医療政策、基礎的医学知識などの学識を持った

人材の育成がこれからさらに求められます。

(川良美佐雄)



発行人 森戸 光彦

編集 日本老年歯科医学会広報委員会

事務局 〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9

駒込TSビル401(財)口腔保健協会内

電話 03-3947-8891 ファックス 03-3947-8341